

Job
Café

就活応援通信 epi.45

ブランクがあると就職できない？空白理由の伝え方

ブランク期間は必ずしも就職で不利になるとは限らない！

ここがポイント

ブランク期間があっても、仕事に対する意欲や姿勢、今後の展望がしっかりしていれば、採用につながることも多いものです。



ブランクの理由を聞かれたときの3つの回答ポイント

1. 働く意欲があることを伝える
2. 業務に活かせるスキルがあることを伝える
3. 事実を素直に伝えて今後の取り組み方を説明する

ブランクがある場合の自己PRのポイント

「ブランクの理由」と「今の段階で、応募企業で働こうと思った理由」を明確にする。まず伝えるべきは、「どうして仕事を辞めたのか」「どうしてこれだけの期間ブランクが空いたのか」という理由。

この理由をあいまいにしてしまうと、企業側は不安に感じます。

そのため、きちんと説明した上で、このタイミングで応募した理由も併せて伝えることが大切です。

親の介護や子育てなどを理由に仕事を辞めた方であれば、それを率直に伝えたくて、「どうして今のタイミングで貴社に入ろうと思ったのか」という志望動機とセットで伝えるのが良いでしょう。

自身の体調不良で辞めた方であれば、退職理由とセットで

「貴社（もしくは今現在の健康状態）なら体調面も問題なく働けること」を伝えましょう。

会社に不満を持ち辞めてしまった方は、環境ではなく

「自分の頑張りが足りなかった」という反省を真摯に伝えましょう。

その上で、同じことを繰り返さないためにどう努力するのか、という点も併せて伝えることが大切です。

とも働き方もいろいろいっしょに見つけよう！

自分らしい働き方

